

第9期ソフィール協会研修会を開催しました

令和元年11月21日（木）に第9期ソフィール協会研修会を開催し、全国各地より会員10社（20名）の皆様に出席頂きました。（宮城県名取市）

研修会の第一部は名取市の北釜防災公園の現場見学会を実施しました。

本公園は震災で被災した下増田臨空公園の跡地に防災公園として計画されたもので、避難用の築山や防災対応浄化槽として循環型ソフィールを採用いただいております。

第二部は、公園内にて移動可能循環型トイレ「ミニソフィ」の説明会を行い、従来のソフィールとは違った場所での設置が期待できることから出席者の皆様には大変興味をもって頂きました。

今回の研修会は東北初の開催となり、今後も益々、復興や防災関連施設でのソフィールが活躍できるきっかけになり、有意義な研修会となりました。



■ ソフィール協会へのお問い合わせはこちら



メールアドレス
info@alcoinc.co.jp



ソフィール協会ホームページ
http://sofil-kai.net/

実績、ソフィールNEWS
バックナンバーも掲載！

アルコ(株)ホームページにも掲載しています

最新の施工事例を随時更新しています！
用途別の納入事例もご紹介していますので、是非ご覧ください。

<https://www.alcoinc.co.jp/mizu/sofil/>



ソフィール 実績

検索

「ソフィール実績」で検索！



◆ お問い合わせ先 ◆

ソフィール協会

三重県津市藤方2254番地1(アルコ(株)内)
TEL:059-213-8811 FAX:059-213-8880
URL:<http://sofil-kai.net/>
E-Mail:info@alcoinc.co.jp

ソフィール NEWS

vol. 21

2020 Winter 新春号
全国210カ所に導入！
環境型トイレ浄化槽！

特集

最新の納入事例

大分県大分市
道の駅のつはる

移動可能な循環型トイレ ミニソフィ



Topics

第9期ソフィール協会研修会を開催しました



沖縄県糸満市「西崎運動公園」

謹賀新年

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございます。毎年、安定して実績数が増加しており、高い性能と品質、顧客満足に向けた活動を高く評価していただき、深く感謝致します。

昨年、富士山御殿場口新五合目公衆トイレ改築事業のプロポーザルに「ソフィール」を提案し採択していただきました。今年6月末完成予定です。また、沖縄で開発してきました移動可能な循環型トイレ「ミニソフィ」を糸満市西崎公園で実証試験を開始しました。近年、地震や台風による風水害など災害が多くなり、防災に関するニーズも高まってきました。トイレ排水の浄化処理した処理水を便器の洗浄水利用する「ミニソフィ」は、防災公園での車椅子利用の高齢者や小さなお子様連れの方々に安心して使用していただける広いスペースの多目的トイレです。

今年は「庚子の年」の年で、変化が生まれ新たな生命がきざし始める状態で、全く新しいことにチャレンジするのに適した年と言われています。ソフィール協会の皆様とともに新しい技術や新しい商品の拡販に挑戦し、みなさんが繁栄されるように活動していきたいと思います。本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。みなさまのご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

ソフィール協会 会長 東 和生

特集 最新の納入事例

道の駅のつはる

大分県大分市

「道の駅のつはる」は、ななせダム（大分川ダム）に隣接し、地域の方々が気軽に利用できるコミュニティ機能を兼ね備えた道の駅です。目の前に雄大なダム湖が広がる自然豊かな場所で、ダム湖の水質保全のために、窒素・リンの富栄養化物質を多く含む尿汚水はできるだけダム湖に流さないようにしたいとの要望があり、処理水をトイレ洗浄水として循環利用するソフィールが採用されました。



場 所：大分県大分市
施工年月：2019年 11月
人 槽：138人槽
汚水量：6.9m³/日
発注者：大分市土木建設部建築課
仕 様：処理水循環利用



- 1 周辺風景
- 2 トイレ棟
- 3 土壌浸潤槽
- 4 装置全景
- 5 装置全景

“ソフィール”とは？

ソフィールは環境に優しい汚水処理システム『土壌微生物膜高度処理浄化槽』です。わずかな消費電力で高度な汚水処理ができ、維持管理が容易でランニングコストが安く、利用者の変動が大きい施設でも安定した処理を行えます。

処理水を循環利用することにより防災対応型トイレとしても利用可能で、放流先の無い場所や環境に配慮したい場所にも最適な浄化槽です。



環境省 平成28年度環境技術実証事業(ETV事業)
自然地域トイレ処理技術分野の実証試験を実施しました



移動可能な循環型トイレ ミニソフィ

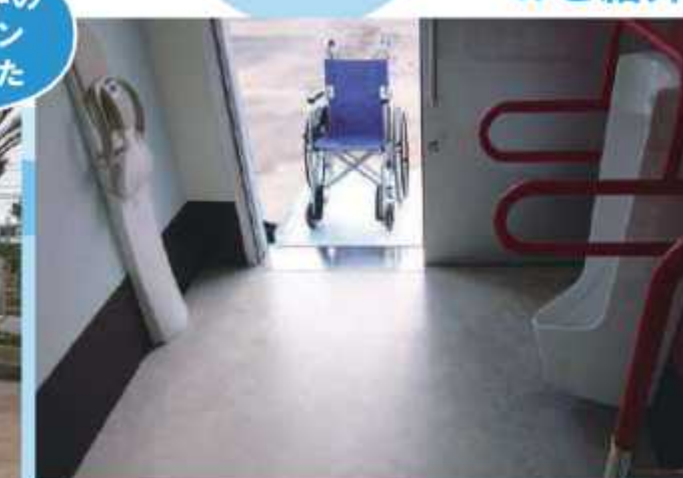
Mini sofī

「ミニソフィ」は今までソフィール事業で培った処理技術を20フィートコンテナにコンパクトに収納し、多目的トイレと一体化した新商品です。



壁面は沖縄芸術大学の学生さんにデザインしていただきました

のご紹介



20フィートコンテナの約半分のスペースを用い、「ゆったり」「広々とした」トイレ空間を創出しました。車椅子利用者、高齢者、小さなお子様連れの方々に安心してお使い頂ける多目的トイレです。

車椅子を必要とする方々や高齢者のための多目的トイレはまだ不足しているのが現状です。既存トイレの増設やリニューアルなどで多目的トイレをご検討の際はミニソフィを宜しく願います。

太陽光発電などの併設により防災トイレとしても機能しますので、災害時にも安心してご利用頂けますし、置くだけ設置可能なので掘削が困難な現場でも設置が可能です。

詳しくは「ミニソフィホームページ」へ！



2019年12月4日に「ミニソフィ」のプレスリリースを行いました。テープカットを行った後、ミニソフィを視察していただきました。12月4日からトイレ利用を開放しており、来年3月末まで実証を行います。



(主催) 光建設(代表企業)、アルコ㈱、御沖創工、御OMecotec
(実演) 内閣府沖縄総合事務局、中小企業基盤整備機構、糸満市役所



雨水貯水・活用システム“アメリオ”とは？

アメリオはタンク内に雨水を貯水し、微生物で水質を浄化・維持するシステムです。整雨レベルⅣ（洗面・シャワー・風呂利用できるレベル※国土交通省雨水の利用推進に関するガイドライン）を目標水質とし、綺麗な雨水はトイレ洗浄水や植物の散水、洗濯水、クーリングタワー補給水、災害用非常用水など、さまざまな用途で有効活用できます！

【浄化技術】
立命館大学・ワコール・(株)メタルファンテックの特許技術（アルコ㈱が実施許諾契約）

YouTubeにて
アメリオご紹介動画
公開中！

<https://www.youtube.com/watch?v=valoQqghgS4&feature=youtu.be>

